

2 中学部の経営

(1) 学部経営の基本

- ア めざす姿 「仲間と一緒に、最後まで取り組むことができる生徒」
- イ 学部目標
- 【いきいき】 進んで活動し、最後まで取り組むことができる意欲や態度を育てる。
 - 【なかよく】 自分の思いを伝える力を育てる。
まわりの人との適切な関わり方を身につけ、安定した人間関係を築く。
 - 【すこやか】 健康の維持・増進と体力の向上を図る。

(2) 本年度の取組

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標
安全	生徒が安全で安心に生活し、活動できる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・各教室の安全点検を定期的実施し、安全な環境を整える。 ・生徒の健康管理について、学園との情報共有の場を設定し、指導を進める。 	各教室の安全点検 月1回実施 学園との毎朝の情報共有
	生徒の人権に配慮した環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自分のよさや、友達のよさを発表する場を設ける。 ・「すんえん3か条」について、振り返る場を設ける。 	週1回(いいところ探しの実践) 全校集会 月1回
授業	生徒一人一人に応じた確かな成長・発達を支える授業づくりの推進	生徒一人一人の卒業後の社会生活に必要な力を身につける観点から「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」を作成し、目標や支援等の共通理解を図る。	個別の指導計画の検討と確認 学期2回
		生活単元学習では、「主体的に学習に取り組む態度」「思考・判断・表現」「知識・技能」の3観点により、目標や内容の検討、評価・改善を行う。また、各教科の見方・考え方の内容を確認する。	校内授業研 年2回
	仲間との協働学習を目指した指導の実践	地域や学園の方に向けた発表会の計画、準備をする授業を行う。	授業計画の検討 学部会
連携	地域とつながる学習の実施	地域の人との交流や地域の資源を活用した授業を行う。 (お茶、葛布織り、地域の資材を使った製品作り等を扱う。)	年3回
	地域にある特別支援学級とつながる交流会の実施	五校交流会に参加するための授業を行い、計画や準備を行う。	五校交流会 年1回
	生徒の将来を見据えた指導を行うための学園・関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での生徒の目標や生活の様子、学園での生活や目標について、学園職員と情報共有を行う。 ・学園職員、児童相談所、市町の福祉課等と、生徒の学校での様子や現在の生徒を取り巻く状況について情報共有し、卒業後の進路決定に向けて連携を図る。 ・必要に応じて移行支援会議を行う。 	指導連絡会 各生徒 年1回 個別支援会議 年2回 移行支援会議 適宜

(4) 指導の実際

ア 日常生活の指導

- (ア) 小学部で培われた身近自立の力をより確実にし、生活に生かすことができるようにする。
 - a 基本的な生活習慣・・・衣服の着脱・荷物整理・身だしなみ・排泄・身体の清潔など
 - b 集団生活に必要な力・・・挨拶・言葉遣い・マナー・時間を守るなど
- (イ) 係の仕事に自分から取り組み、最後まで行うことができるようにする。
 - a 個に応じた係活動や清掃の内容設定、手順や方法の指導

イ 生活単元学習

- (ア) 生活に即した身近な内容に関心を持ったり、課題への目的意識や見通しを持ったりして、自分から取り組むことができる。
 - a 一人一人の良さを生かし、力を発揮できる場、仲間と協力して活動する場面を設定し、望ましい取り組みの態度や、人との関わり方を指導する
- (イ) 目的に向かって、友達や教師と関わりながら、最後まで取り組むことができる。
 - a 友達と目標に向かって取り組む喜びを感じ、意欲を持って学習できる活動内容と場面の設定
- (ウ) 自分達が住んでいる地域に興味をもち、地域の方との関わりや、地域に親しみをもてるようにする。
 - a 地域の人と関わる場の設定や、地域の自然素材を生かした活動の設定

ウ 国語

- (ア) 個に応じた言語の理解や、実生活に役立つ力を身につけたり、相手に伝える力や聞く力を高めたりし、それらを活用する能力と態度を育てる。
 - a 興味、関心、意欲が持てる教材の活用、日常生活に必要な国語の力や将来社会生活に必要なコミュニケーション能力を伸ばす指導の実践

エ 数学

- (ア) 日常生活に必要な、数の操作や量の大きさ、時刻や時間が分かり、それらを扱う技能と態度を育てる。
 - a 興味、関心、意欲が持てる教材の活用、将来社会生活に必要な計算、時刻や時間の学習を取り扱う

オ 音楽

- (ア) 表現及び鑑賞の活動を通して、音楽についての興味や関心を深め、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。
 - a 歌唱・・・親しみやすい旋律や歌詞の曲に取り組む
 - b 器楽・・・個に合わせた和太鼓等の打楽器や、鍵盤ハーモニカ等の音階楽器の演奏に取り組む
 - c 身体表現・・・曲の雰囲気やリズムに合わせて主体的に表現できる選曲の工夫と、示範を行う
 - d 鑑賞・・・いろいろな曲想やリズムの曲に触れ、雰囲気を味わう活動を行う

カ 美術

- (ア) 表現及び鑑賞活動を通して作る楽しさや、作品のよさを感じる力を育てる。
 - a 絵や版画・・・静物や風景の観察や描写、学校行事等を表現できる題材の設定
 - b 立体造形・・・いろいろな造形材料の性質を生かした加工ができる題材の設定

キ 保健体育

- (ア) 健康の増進と体力の向上を図り、基本的な運動能力を高める。
 - a きまりや簡単なスポーツのルールを守り、友達と協力したり、安全に留意したりし、楽しく運動できる内容を取り扱う
- (イ) 健康で安全に学校生活を送ることができるよう健康の保持増進を図る。
 - a 生活習慣に関する活動(歯磨き、手洗い、姿勢等)を取り扱う

ク 職業・家庭

- (ア) 将来の職業生活に係る材料の扱い方がわかり、安全や衛生に気をつけて活動したり、友達と協力して物事に取り組んだりする態度を育てる。
 - a 個に応じた道具や材料を使った技術の習得
 - b 個別に役割があり、友達と一緒に協力して作業する場面の設定
- (イ) 進路に関わる学習を行い、働くことに対する意識を高める。
 - a 高等部の体験を通して、働くことへの関心がもてる場面の設定
- (ウ) 生活に必要な基礎的な知識と技能を増やす。
 - a 清潔な衣服についての学習や調理実習の実施

ケ 特別活動

- (ア) 集団活動を通して、仲間と協働する。(学級活動)
 - a 適切な関わり方ができる場面や、互いのよさを発揮できる場面の設定
- (イ) 任された仕事に責任を持って取り組む態度を育てる。(委員会活動)
 - a 個々の力が発揮できる委員会を設定し、友達と役割分担をして活動を行う
- (ウ) 地域の特別支援学級の生徒と集団活動を通して、交流学習を行う(交流活動)
 - a 適切な活動の種類や内容、実施方法を定め、地域の特別支援学級の生徒と交流を深める機会を設定する

コ 自立活動

- (ア) 心理的な安定を図る。〈心理的な安定〉
 - a 落ち着いて学校生活を送ることができるよう、情緒の安定を目指した指導を行う
- (イ) 場所や場面の状況を理解し、適切に対応したり、行動の仕方を身につけたりする。〈コミュニケーション・人間関係の育成〉
 - a コミュニケーション能力を高め、他者との人間関係の形成を育む場面の設定
 - b 個に合わせたコミュニケーション手段の選択、活用や、自分の意思を相手に伝え、周囲と適切に関わるの指導の実践
- (ウ) 目と手の協応動作、手先の巧緻性、集中力を高める。〈身体の動き〉
 - a 個の課題に応じた教材や指導内容の工夫
- (エ) 自他の理解をし、人との関わりを円滑に築く態度を育てる。〈人間関係の形成〉
 - a 自分の得意なことやがんばったこと、友達のがんばったことを全員で共有する場の設定をする

サ 総合的な学習の時間

- (ア) 体験学習を通して、社会や自然に興味を持ち、自分から課題に取り組む態度を育てる。
 - a 自らの生活や社会から、興味・関心に基づくテーマを設定し、観察・見学など、体験的な学習を中心に据える
 - b 職業家庭の学習と関わらせながら、高等部見学・体験学習を行うことで、多様な作業種や働くことへの関心を高める

(5) 学部行事・交流・校外学習

- 4月 入学式
- ~~5月~~ ~~スポーツフェスティバル~~
- 9月 音楽発表会
- 10月 修学旅行(3年生)
- 11月 秋の遠足
高等部見学(2年生)
- 12月 四校交流会
- 2月 学習発表会
- 3月 修了式
卒業式